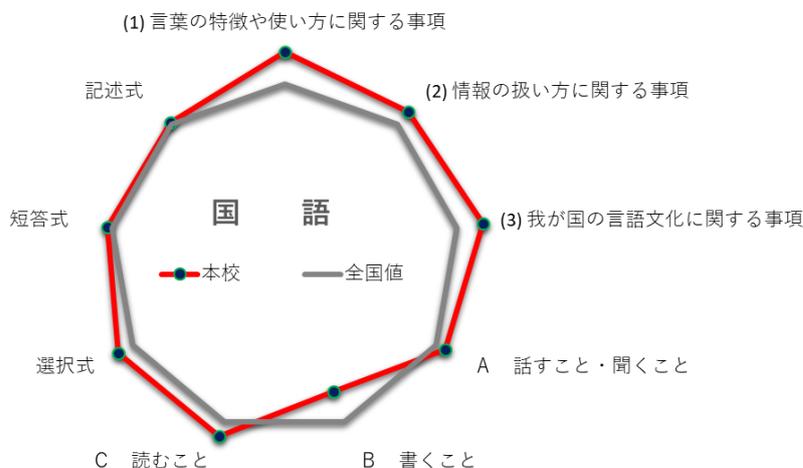


令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果について

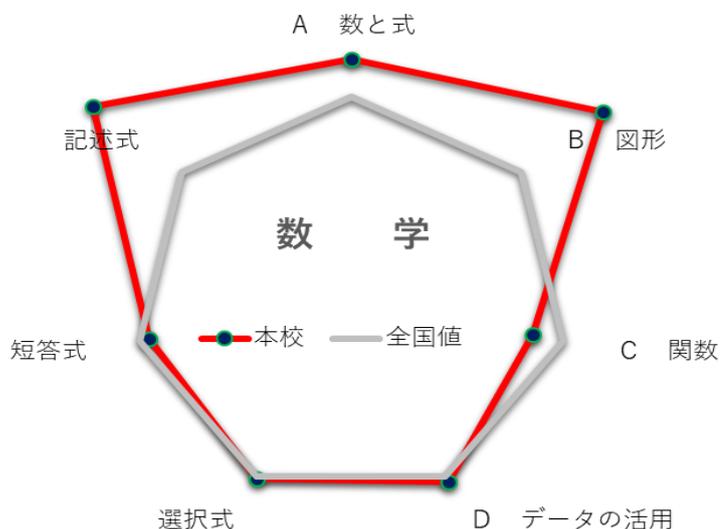
【国 語】



〔状 況〕

- ・ **総合正答率では、全国値を上回る結果であった。**
- ・ 領域別では、「知識技能（1）～（3）」の全ての事項において全国値を上回ったが、「表現」においては「書くこと」において、全国値を下回った。
- ・ 問題形式別では、全ての形式で全国値を上回る結果であった。
- ・ 授業においては、本校の教職員研修*₁で取り組んでいる「協働的な学び(対話的な学び)」による「深い学び」を導く授業設計の工夫を推進する。

【数 学】



〔状 況〕

- ・ **総合正答率は、全国値を上回る結果であった。**
- ・ 領域別において、「C関数」領域において、正答率が全国平均を下回ったが、「B図形」領域の正答率は全国値を大きく上回った。
- ・ 問題形式別では、どの形式においても正答率は全国平均を上回っており、「記述式」問題の正答率は全国値を大きく上回った。
- ・ 授業においては、本校の教職員研修*₁で取り組んでいる「個別最適な学び」となるように、「個に応じた学習」を導く授業設計やICTの活用の工夫を推進する。

【本校全体の状況】

〔本校の課題〕

北海道においては、国語は全国平均とほぼ同水準ですが、数学は全国平均より下回っています。

本校においては、国語も数学も全国平均を上回る結果となりました。

目的や条件に応じて理由や根拠を示したり、自分の考えを筋道を立てて説明する「表現」の観点やデータや資料をもとに判断し説明する「思考」の観点に改善の必要性が見られました。

〔本校教職員の研修〕 *1

これまで保護者の皆様が学んでこられたスタイルの「一斉型の授業」のほか、「自らの考えや取組を分析し、まとめて発信する」ような授業スタイルが求められており、今回の調査でもそのような取組による深い学びを問うような問題が多く出題されています。

本校では教職員が「学びのアップグレード」という研修テーマのもと、教務部を中心として全教職員で「思考・判断・表現力を伸ばすためのICT（タブレット）端末の活用」を研究主題として授業改善に力を入れております。

各授業においてICTを活用した『個別最適な学び』（主体的な学び）と『協働的な学び』（対話的な学び）の活動を通して、「深い学び」の形成を目標としています。

〔ご家庭との連携〕

生徒質問紙からは、「授業以外で勉強をする時間が短い」、「SNSや動画視聴、ゲームをする時間が長い」などの傾向が見られます。そのため情報の流入量が多いのですが、資料やデータを分析し、自分の考えをまとめて発信することを苦手と感じている傾向があります。『学びのアップグレード』に向けた、望ましい学習習慣・生活習慣の定着に向けた家庭や地域との連携などの取組を一層充実させる必要があると考えています。

小学校と連携した校区のエリアファミリーで推進する「アウトメディアデー」の取組をきっかけとするなど、是非お子さんとのコミュニケーションにより、お子さんの考えや思いを共有して頂ければと思います。

お子さんの自己実現に向けた、ご家庭と学校の連携した学力の向上にご協力ください。